保証・免責事項について

①本品は正常な使用状態において万一故障した場合、下記により無償修理またはサービス部品を無償供給します。
- ●無償修理保証期間はご購入後１年です。
- ●修理・サービス部品供給については、お客様との打合せにより日程・手順・方法等を決定し対応します。

②有償修理について
- ●無償修理保証期間をすぎた時は修理・サービス部品供給は全て有償になります。
- ●無償修理保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
  - （イ）本取扱説明書通り取り扱わなかった場合
  - （ロ）用途以外に使用した場合
  - （ハ）本取扱説明書通りに修理しなかった場合、また改造した場合
  - （ニ）刃物または消耗部品の場合
  - （ホ）非常に過酷な使い方をした場合

③次の場合は当社は一切責任を負いません。
- （イ）火災、水害、地震、落雷、その他の天災地変、および公害や異常電圧による不具合または事故
- （ロ）本取扱説明書通りに取り扱わない場合
- （ハ）使用上の誤り、または不当な修理や改造を行なった場合

④本品に関して当社の費用負担が生じた時の負担額は、いかなる場合も本品のご購入価格以下とします。

REX
www.rexind.co.jp

レッキス工業株式会社

東京支店　〒177-0032　東京都練馬区谷原５丁目13番30号　Tel.03-5393-6011
大阪支店　〒578-0948　東大阪市菱屋東１丁目９番３号　Tel.072-961-1201
札幌営業所　〒007-0805　札幌市東区東苗穂５条２丁目７番15　Tel.011-787-4611
仙台営業所　〒984-8651　仙台市若林区卸町３丁目１番13号　Tel.022-232-1697
東京営業所　〒177-0032　東京都練馬区谷原５丁目13番30号　Tel.03-5393-6011
前橋営業所　〒371-0846　群馬県前橋市元総社町932番８号　Tel.027-253-8691
神奈川営業所　〒243-0804　神奈川県厚木市関口150番地の１　Tel.046-245-3981
名古屋営業所　〒454-0806　名古屋市中川区澄池町９番３号　Tel.052-351-1551
大阪営業所　〒578-0948　東大阪市菱屋東１丁目９番３号　Tel.072-961-1201
広島営業所　〒731-5115　広島市佐伯区八幡東４丁目３番８号　Tel.082-927-9591
九州営業所　〒812-0882　福岡市博多区麦野３丁目18番26号　Tel.092-583-1110
本社　〒542-0086　大阪市中央区西心斎橋１丁目４番５号
工場　〒578-0948　東大阪市菱屋東１丁目９番３号

お客様相談窓口　0120-475-476
受付時間：月～金・9:00～12:00 13:00～17:00

商品の仕様は予告なく変更することがあります。

5V130-J7
1604D0200

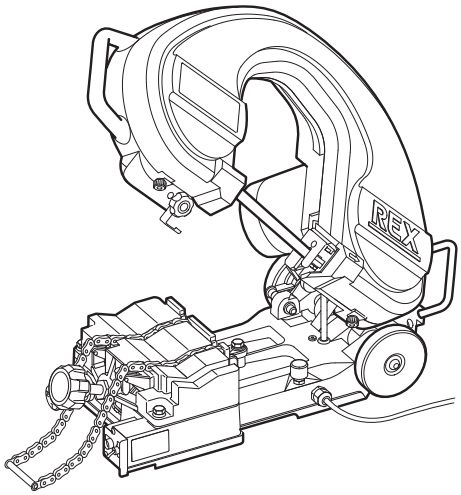
REX

バンドソー切断機

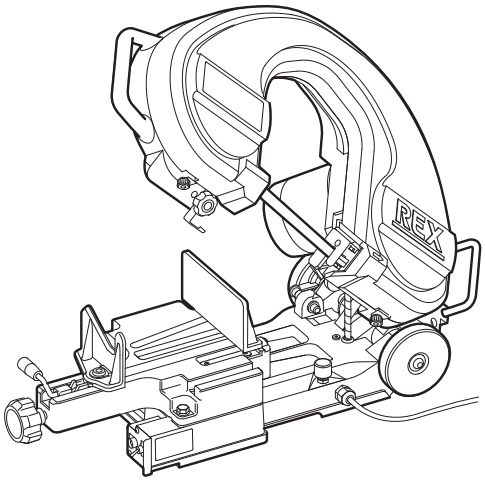
50/60Hz

MANTIS マンティス180WS・180WA

XB180WS・XB180WA　共通取扱説明書



XB180WS
（チェーンバイス）



XB180WA
（平バイス）

⚠ ご使用前に必ずお読みください

―お願い―

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- 安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みになってください。
- なお、この取扱説明書は、お使いになる方が必要なときに、いつでも見られるところに大切に保管してください。

購入年月：　　年　　月

お買上げ店名：

このたびはREXバンドソー　マンティスシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書は、XB180WS（チェーンバイス）とXB180WA（平バイス）の両機種共通となっております。各作業手順は機種により分かれている項目がありますので下記の図を参考にしていただき、お買い上げいただいた機種に応じてお読みください。

XB180WS（チェーンバイス）

XB180WSの場合

このマークのついた部分をお読みください。

XB180WA（平バイス）

XB180WAの場合

このマークのついた部分をお読みください。

作業準備

1.運搬、設置
2.フレームロックの操作
3.使用する電源について
4.ノコ刃の交換
5.予備ノコ刃の取付け取外し
6.切断前の点検

切断準備

1.切断荷重の調整
2.セリスライド調整
3.切断材料の固定（チェーン）
3.切断材料の固定（平バイス）

切断

1.切断作業
2.切断中にノコ刃がスリップした場合
3.切断中に停止した場合
4.切断材料取外し（チェーン）
4.切断材料取外し（平バイス）
5.切断終了
5.切断終了

・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全にご使用いただくために」の項目を必ず守ってください
・ご使用前に、この「安全にご使用いただくために」の項目すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
・この取扱説明書に記載されていること以外の取扱いをしないでください。

目　次

安全にご使用いただくために …… 1
マンティス180WS/180WA使用上のご注意…… 3
各部の名称・標準仕様・標準付属品 …… 4
ノコ刃の種類（オプション） …… 5
切断荷重とノコ刃の選定について …… 5
用途 …… 5
交換バイス …… 6
作業準備
1. 運搬・設置 …… 7
2. フレームロックの操作 …… 7
3. 使用する電源について …… 8
4. ノコ刃の交換 …… 9
5.予備ノコ刃の取付け取外し ……11
6. 切断前の点検 ……12
切断準備
1. 切断荷重の調整 ……13
2.セリのスライド調整……13
3. 切断材料の固定 ……14
切断
1. 切断作業 ……17
2. 切断中にノコ刃がスリップした場合 ……17
3. 切断中にモーターが停止した場合 ……18
4. 切断材料取外し……18
5. 切断終了……19
その他の使い方
1. コンター切断 ……20
メンテナンス
1.各部の手入れ ……21
2.ブラシの交換 ……22
修理をご依頼の時は ……22
トラブルシューティング ……23

⚠警　告　⚠注　意　の意味について

この取扱説明書では、注意事項を ⚠警　告 と ⚠注　意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警　告 ： 誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注　意 ： 誤った取扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

なお、「⚠ 注　意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので必ず守ってください。

・この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに弊社の代理店・販売店にご注文ください。
・品質、性能向上あるいは安全上、予告なく使用部品や仕様の変更を行う場合があります。その際には本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

安全にご使用いただくために

⚠ 警　告

① 使用電源は正しい電圧で使用してください。

・必ず本体の銘板に、もしくは取扱説明書に定格表示してある電圧でご使用ください。表示電圧以外の電圧で使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあります。

② 差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチがOFFになっていることを確認してください。

・スイッチがONの状態で差し込みプラグを電源に差し込むと、急に機械が動きだし思わぬ事故につながります。必ずスイッチがOFFになっていることを確認してください。

③ 感電に注意してください。

・濡れた手で差し込みプラグに触れないでください。

・雨中や機械内部に水の入りやすい所では使用しないでください。

・アースは必ず接地してください。感電の恐れがあります。

④ 作業場での周囲状況も考慮してください。

・雨中、湿った場所、濡れた場所、機械内部に水の入りやすい場所などでは使用しないでください。湿気はモーターの絶縁を弱めたり、感電事故のもととなります。

・ガソリン、シンナーなど、可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。引火、爆発の恐れがあります。

⑤ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

・取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、使用しないでください。事故やケガの原因になります。

⑥ 次の場合は、本体のスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。

・使用しない、または、部品の交換、修理、掃除、点検をする場合。

・付属品を交換する場合。

・その他危険が予想される場合（停電の際も含みます）。プラグが差し込まれたままだと、不意に本体が作動して、事故の原因になります。

⑦ 異常を感じたらすぐに運転を中止してください。

・運転中、機械の調子が悪かったり、異臭や振動、異常音などに気がついた場合は直ちに機械の運転を中止してください。

・取扱説明書の「トラブルシューティング」の項目に症状を照らし合わせ、該当する指示に従ってください。そのまま使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあり、事故やケガの原因になります。

・本体が発熱したり、発煙した場合は、むやみに分解せず、点検・修理に出してください。

⑧ 作業場は、いつもきれいに保ってください。

・作業台、作業場所は常に整理整頓を心がけ、十分明るくしておいてください。
ちらかった場所や作業台は事故の原因になります。

⑨ 作業関係者以外は近づけないでください。

・作業者以外、本体や電源コードに触れさせたり機械の操作をさせないでください。

・作業者以外、作業場へ近づけないでください。特に、子供には十分注意してください。ケガの原因になります。

⑩ 無理して使用しないでください。

・指定用途以外には使わないでください。安全に能率良く作業するために、本体の能力に合った作業をしてください。無理な作業は製品の損傷をまねくばかりでなく、事故の原因になります。

・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。

⑪ きちんとした服装で作業してください。

・ネクタイ、そで口のあいた服、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。着用している衣服のボタン、ファスナーなどはすべて閉めて作業を行ってください。回転部に巻き込まれ重大な事故やケガの原因になります。

・屋外での作業の場合にはゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、ケガの原因になります。

・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。またマフラーなどを着用して作業を行わないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

・作業環境により、保安帽、保護メガネ、安全靴等を着用してください。

安全にご使用いただくために

⚠ 警　告

⑫ 無理な姿勢で作業をしないでください。

・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒してケガの原因になります。

⑬ レンチなどの工具類は、必ず取り外してください。

・スイッチを入れる前に、点検・調節に用いた工具類が取り外してあることを確認してください。付けたままで作動させると、事故やケガの原因になります。

⑭ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

・取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。注意を怠ると、事故やケガの原因になります。

・疲れているとき、酒を飲んだとき、病気や薬物の影響、その他の理由により、作業に集中できない場合は、使用しないでください。事故やケガの原因になります。

⑮ 電源コードは乱暴に扱わないでください。

・コードを持って製品を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから引き抜いたりしないでください。

・コードを高熱のもの、油脂類、刃物類、角のとがった所に近づけないでください。

・コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、配線する場所に注意してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。

⑯ 日頃から注意深く手入れをしてください。

・付属品や部品の交換は、取扱説明書に従ってください。

・電源コードや差し込みプラグは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。

感電や、ショートして発火する恐れがあります。

・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には変換してください。また、屋外で使用する場合には、屋外使用にあった延長コードを使用してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。

・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。すべって、ケガの原因になります。

⑰ 損傷した部品がないか点検してください。

・使用する前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。

・差し込みプラグやコードが破損している機械は使用しないでください。

感電や、ショートして発火する恐れがあります。

・スイッチで始動および停止操作のできない機械は、使用しないでください。

・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。

⑱ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

・乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。

⑲ 機械の分解・修理は、専門店に依頼してください。

・当社の製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。

・修理は、必ずお買い求めの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因になります。

⑳ 定められた用途以外には使用しないでください。

・用途以外に使用すると、事故やケガ、破損などの原因になります。

マンティス180WS・180WA　使用上のご注意

⚠ 警　告

① 回転中のノコ刃に触れないでください。

・運転中や、スイッチをOFFにしてからしばらくの間など、ノコ刃が動いているときは絶対にノコ刃や回転部に触れないでください。巻き込まれ事故やケガの原因になります。

② 切断作業中は手袋をしないでください。

・回転部に巻き込まれ事故やケガの原因になります。

③ 切断直後の切断材料、ノコ刃に素手で触れないでください。

・切断直後の切断部やノコ刃は高温になっていますので、素手で触れないでください。火傷などケガの原因になります。

④ 異常時は直ちに運転を中止してください。

・運転中、機械の調子が悪かったり、異常が発生した場合は直ちにスイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。

⑤ フレームカバーは必ず取付けた状態で使用してください。

・フレームカバーを取付けずに運転するとノコ刃や回転部に巻き込まれ、事故やケガの原因になります。

⑥ 本体は平坦な場所に設置し、安定した状態で使用してください。

・傾斜した地面への設置は避け、必ず平坦な場所に設置してください。作業中に転倒し、事故やケガの原因になります。

・コンター切断を行う場合は特に転倒に注意し、フレームが手前に倒れないことを確認してください。

⑦ マシンを立てて収納する場合は、安全な設置場所を選んでください。

・マシンを立てて収納する場合は、必ず平坦で人通りの無い場所にしてください。マシンが転倒すると、マシンの故障のみならず、事故やケガの原因になります。

⑧ ノコ刃交換時や切断材料取付け時は必ずスイッチがOFFになっていることを確認してください。

・特にノコ刃交換時はスイッチをOFFにするだけでなく、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

⑨ 切断時、フレームを急激に落下させないでください。

・ノコ刃などの破損の原因になります。

⑩ 本機に強い衝撃を与えないでください。

・本機は厳密な精度で加工されていますので、転倒させたり、運搬時に落下させると、破損などの原因になります。

・運搬時は落下に注意してください。機械が破損するばかりでなく、足の上などに落下すると事故やケガの原因になります。

⑪ 電源は必ずAC100Vを使用してください。

・AC100V以外の電圧で使用するとモーターが焼損し、破損や事故の原因になります。

⑫ 切断材料はしっかりと固定してください。

・固定が不十分だと切断中に材料が動き、ノコ刃が破損したり、振動の原因になります。

・束ね切りを行う場合は、切断するすべての材料が固定されていることを確認してください。

⑬ 切断材料に適した純正のノコ刃を使用してください。

・ノコ刃は切断材料に適したものを使用したください。

・ノコ刃は必ず純正品を使用してください。

⑭ 切断材料に適した荷重で切断してください。

・無理な荷重で切断したり、切断中にフレームを押し付けたりすると、斜め切れやノコ刃の欠け、折損、モーターロックなどの原因になります。

⑮ ノコ刃は確実に取付けてください。

・切断中に外れ、ケガや事故の原因になります。

⑯ ノコ刃、切断材料に付着した油は必ず拭き取ってから使用してください。

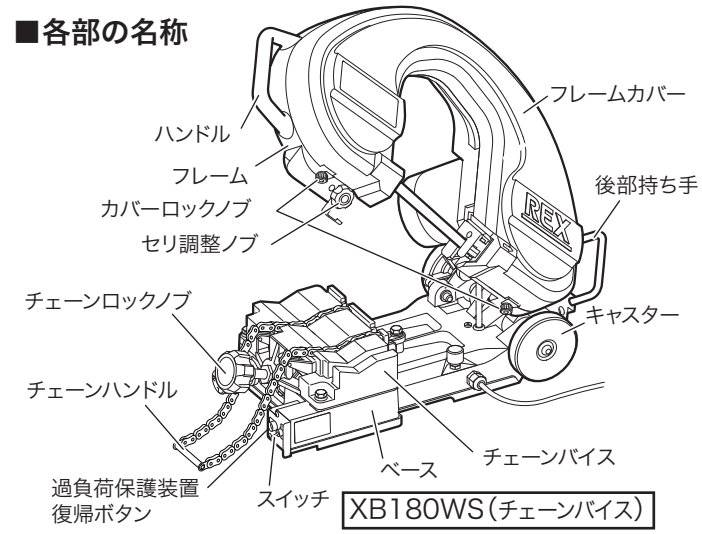
・ノコ刃には出荷時防錆油が塗布されていますので、取付け前に必ず拭き取ってください。そのまま使用するとノコ刃のスリップや、外れの原因になります。

・切断材料に油が付着している場合も同様に拭き取ってください。

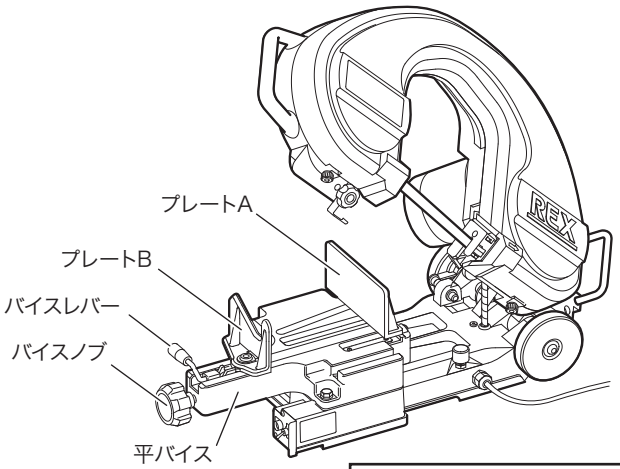
・切断時、切削油などをノコ刃に注油しないでください。

各部の名称・標準仕様・標準付属品

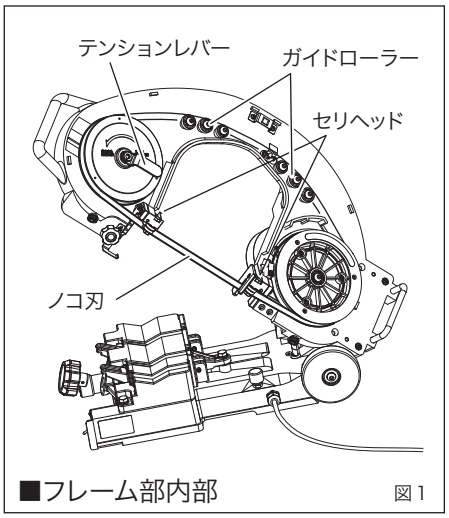
■各部の名称



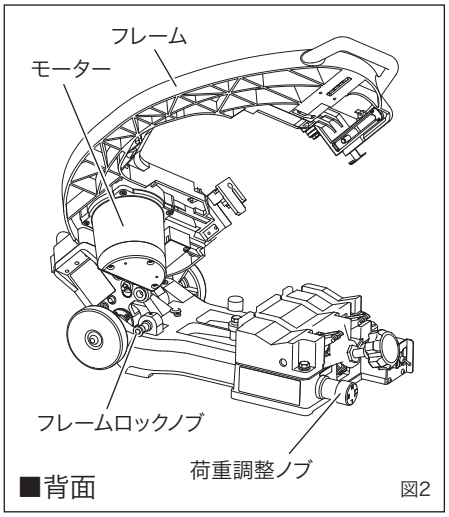
XB180WS（チェーンバイス）



XB180WA（平バイス）



■フレーム部内部　図1



■背面　図2

■標準仕様・標準付属品

形式		XB180WS	XB180WA
バイス方式		チェーンバイス	平バイス
切断能力	パイプ	φ180mm　□150mm	φ180mm　□150mm
	丸棒(軟鋼棒)	φ80mm	φ80mm（直角切断）
	45°切断		φ80mm　□80mm
電源		単相交流100V （50/60Hz）	
モーター		分相始動式250W （出力）	
プーリー回転数		70min^{-1}（50Hz）、84min^{-1}（60Hz）	
機械寸法		865（L）×355（W）×415（H）mm	
質量		37kg	43kg
標準付属品		帯ノコ刃　ハイス14山（品番No.475211）×1本	
		六角棒スパナ(5mm）×1本	ソケットレンチ(17mm）×1本
			六角棒スパナ(5mm）×1本

表1

ノコ刃の種類（オプション）

ノコ刃は必ず次表の純正品を使用してください。

品番	ノコ刃の材質	山数（山／インチ）	単位（1箱）
475200	合金	8	10本
475201		10	
475202		14	
475203		18	
475204		24	
475210	ハイス	10	5本
475211		14	
475212		18	
475213		24	
475220	グリッドソー	-	

表2

切断荷重とノコ刃の選定について

切断材料の種類、径、肉厚などに合わせて最適な荷重とノコ刃を選定してください。

切断材料			合　金					ハイス				グリッドソー
			8山	10山	14山	18山	24山	10山	14山	18山	24山	
配管用炭素鋼鋼管（呼び径）		8A～25A			L	L			L	L		
		32A～80A			M	M			M	M		
		90A～150A			H	H			H	H		
ステンレス鋼鋼管（呼び径）	スケジュール40	8A～25A							L	L		
		32A～80A							M	M		
		90A～150A							H	H		
	薄肉管（SU管）	13～125Su									LL	
		150Su								LL	L	
樹脂管（塩ビ管、ポリエチレン管）					LL	LL			LL	LL		
電線管		厚鋼				M				M		
		薄鋼				L	L			L	L	
鋳鉄管					H				H			
モルタルライニング鋳鉄管												H
軟鋼材（肉厚）	形鋼材	1.9mm以下					LL				LL	
		2～3.4mm			L	L			L	L		
		3.5～4.9mm			M	M			M	M		
		5～7.9mm		M	H			M	H			
		8mm以上		H	H			H	H			
	棒材	15mm以下			M	M			M	M		
		16～50mm			H				H			
		51～80mm	H	H				H	H			

LL＝超軽荷重　　L＝軽荷重　　M＝中荷重　　H＝重荷重

表3

※上記表は目安ですので、切断材料に応じてノコ刃切断荷重を選定してください。
※ノコ刃の山数の選定は、切断材料の肉厚にノコ刃の山が2山かかることを基準に選定してください。
※肉厚が薄い樹脂管などはLL荷重でも切断荷重が重く、斜めに切れる場合があります。
　その際は、フレームのハンドルを手で持ってゆっくりとフレームを降ろしながら切断してください。

用　途

●鋼管、棒鋼などの各種軟鋼材の切断
※焼入鋼などの硬い材料は切断しないでください。ノコ刃が極度に磨耗します。

●ステンレス管や樹脂管の切断
※熱軟化性のプラスチック材料は切断しないでください。
　切削時の熱により材料が溶けてノコ刃がくい込み、モーターが焼損する原因になります。

交換バイス/チェーンバイス⇔平バイス（オプション）

本機はバイス部の取付け取外しが可能です。オプションのバイスをご購入頂くことでチェーン
バイスマシンを平バイスマシン、平バイスマシンをチェーンバイスマシンに変更することができます。
バイスの取付け取外しは3本のボルトの脱着で簡単に行えます。

品番	475190
品名	チェーンバイスユニット

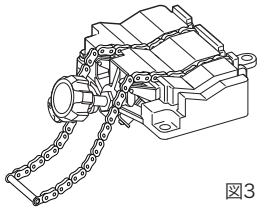


図3

品番	475192
品名	平バイスユニット

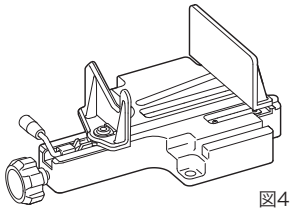


図4

1.バイス交換　（図5～図7）

①ボルト3ケ所を緩め、ボルト、ワッシャを取り外してください。
（図5）

②バイスを持ち上げてベースから外してください。（図6）
※バイスにはピンが左右（2箇所）に埋め込まれています。紛失しないようにしてください。

③ベースのピンとバイスのピン穴を合わせながらベースにセットしてください。（図7）

④ボルトを締め付けてください。

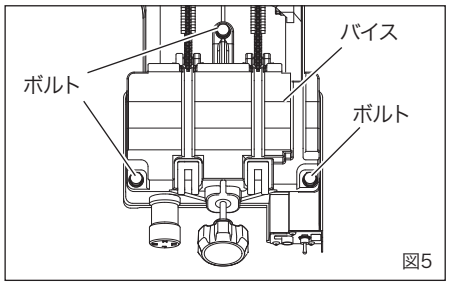


図5

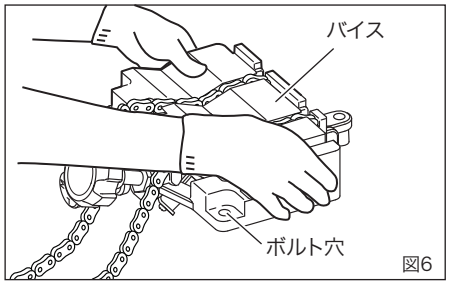


図6

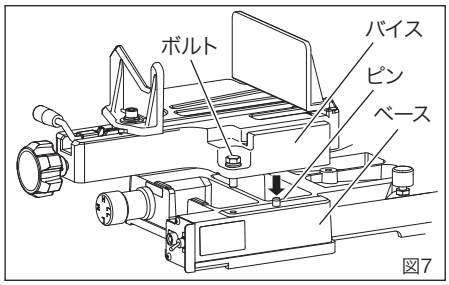


図7

⚠ 注　意

・バイスの取付け前にはバイス及びベースの取付け面を清掃してください。ゴミなどが挟まりバイスがずれて取付く為、切断精度が悪くなります。
・ボルトはしっかりと締め付けてください。バイスががたつき切断精度が悪くなるばかりでなく、ノコ刃破損の原因にもなります。
・バイスの交換の際には、指等はさまないよう十分注意してください。

作業準備

1. 運搬、設置(図8～図9)

⚠ 警 告

運搬の際は落下に注意してください。機械が破損するばかりでなく、足の上などに落下するとケガや事故の原因になります。

運搬方法

①梱包時の製品はフレームがロックされた状態になっていますので、ハンドルを持ち上げるとキャスターが接地し、転がして運搬できます。(図8)

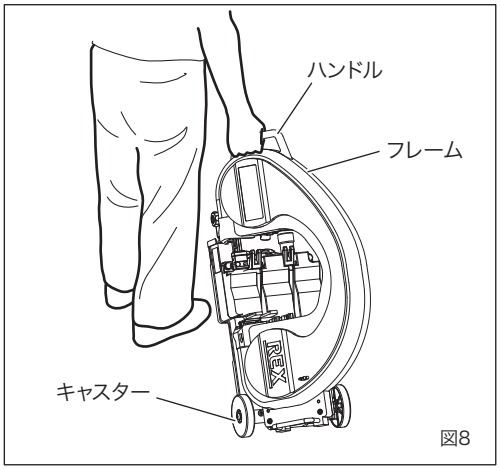


図8

②持ち上げて運ぶ場合はハンドルと後部持ち手を持ち、必ず2人以上で運んでください。(図9)

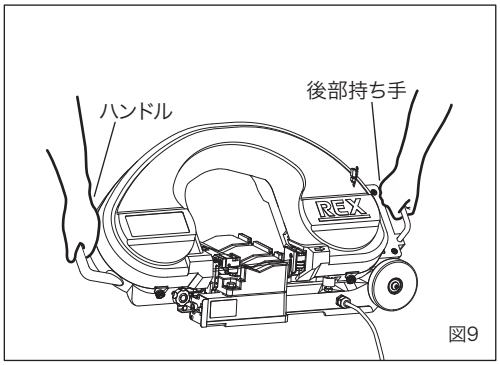


図9

設置方法

①平坦な場所を選んで設置してください。

⚠ 注 意

設置は平坦で安定した場所に行ってください。傾いた場所などに設置すると作業中に転倒し、事故やケガの原因になります。

2.フレームロックの操作(図10～図11)

①モーター左下部にあるフレームロックノブを引きながら、左右どちらかの方向に90°回転させてください。(図10)

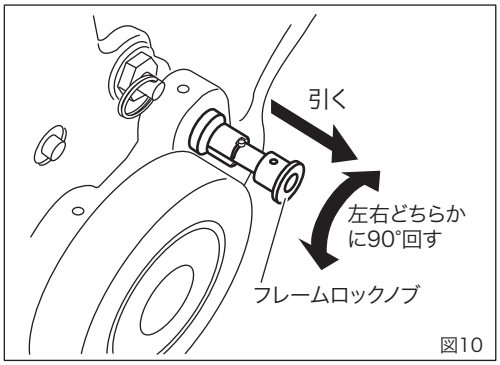


図10

②フレームロックノブが出たままの状態になればロックが解除されています。運搬の際は同じ手順でフレームをロックして運んでください。

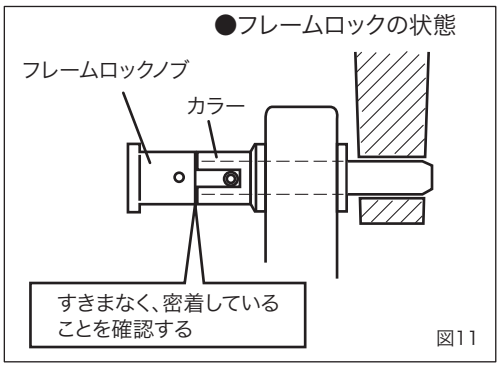


図11

⚠ 警 告

フレームロックの注意（図11）
フレームロック時、フレームロックノブがカラーの端面と密着していることを必ず確認してください。
すきまが開いた状態ではロックピンが穴に完全に差し込まれておらず運搬中にロックが外れる場合があり、事故やケガの原因になります。

作業準備

3. 使用する電源について(図12)

AC100Vの電源を使用してください。その際、以下の項目について確認してください。

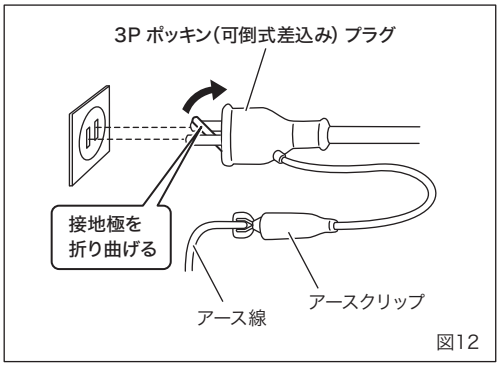


図12

漏電遮断器の確認

接続する電源に、労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断器（以下漏電遮断器）が設置されていることを確認してください。

接地（アース）の確認

本機は必ず接地（アース）を行い使用してください。
定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の漏電遮断器の設置されている電源で使用する場合でも、安全のため、接地（アース）を行ってください。

⚠ 警 告

接地（アース）線をガス管に取付けると爆発します。
絶対に行わないでください。

アースは、接地極のある電源コンセントに3Pポッキンプラグ（接地極付プラグ）を差し込んで行ってください。
接地極のない電源コンセントに接続するときは、接地極を折り曲げて電源コンセントに差し込み、アースクリップを使用してください。（図12）

地中に接地極（アース板、アース棒）を埋め、接地線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店にご相談ください。
漏電遮断器や接地（アース）については次の法規がありますので、参照してください。
・労働安全衛生規則（第333条、第334条）
・電気設備の技術基準（第18条、第28条、第41条）

延長コードを使用する場合

電源の位置が離れていて延長コードが必要な場合は、充分な太さのものをできるだけ短くして使用してください。

表4は本機で使用することのできる延長コードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示しています。

導体公称断面積	最大長さ
1.25㎟	10m
2.0㎟	15m
3.5㎟	30m

表4

漏電遮断器の設置されていない電源の場合は必ず接地（アース）できる接地用の1芯を持つ3芯キャプタイヤケーブルを使用してください。

⚠ 警 告

延長コードは必ず損傷のないものを使用してください。

作業準備

4. ノコ刃の交換(図13～図18)

切断する材料にノコ刃が適しているか確認し(P.5参照)、適していない場合はノコ刃を交換してください。

⚠ 警 告

・ノコ刃の交換の際は必ず電源プラグを電源から抜いた状態で行ってください。不意に起動してケガや事故の原因になります。
・素手で直接刃先に触れないでください。ケガの原因になります。交換の際は手袋、保護メガネを着用してください。

新品のノコ刃を取付けるときは

①ノコ刃のスリップ防止のため、ノコ刃に付着している防錆油は完全に拭き取ってから取り付けてください。
また、同時にプーリーやベアリングに付着した油や切粉も拭き取ってください。

②新品のノコ刃は刃欠けや斜め切りになりやすいため、ならし切断を必ず行ってください。
ならし切断:荷重はLL荷重にセットし、50A程度のガス管を1～2回切断してください。

フレームカバーの取外し

①フレームを上げた状態にし、フレーム下部にある2箇所のカバーロックノブを反時計方向に回し、ゆるめて下さい。(図13)
②フレームカバーを持ち、上方向にずらしながら取り外します。(図13)
※フレームカバーの上部にはフックが付いていますので、上方向にずらして取り外してください。(図15)

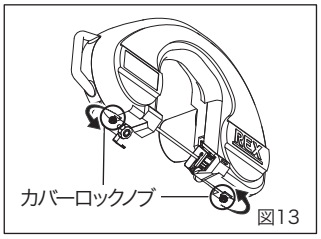


図13

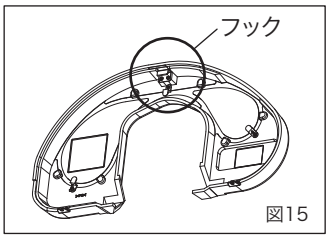


図15

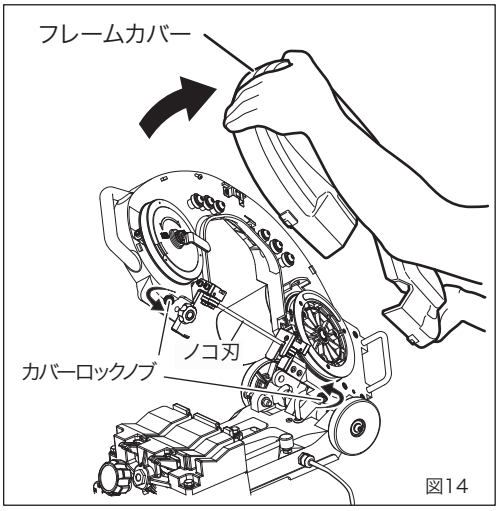


図14

⚠ 警 告

・フレームカバーを取外す際はノコ刃の飛び出しに注意してください。事故やケガの原因になります。特に破断したノコ刃を交換する場合、ノコ刃が飛び出しやすいので、十分に注意しながらゆっくりとフレームカバーを取外してください。

ノコ刃の取外し(図16)

①持ち手側にあるプーリーのテンションレバーを反時計方向に回すとノコ刃の張りが緩みます。

②プーリー部からノコ刃を外します。

③最後にセリ部からノコ刃を外します。

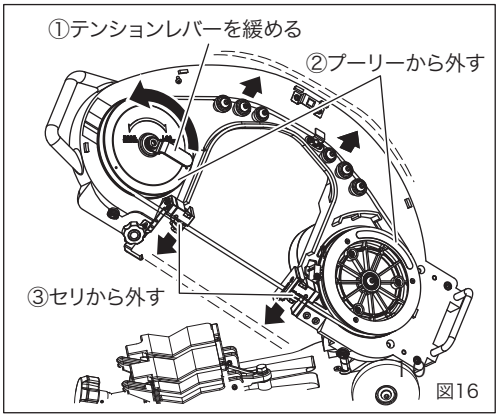


図16

作業準備

ノコ刃の取付け(図17)

・図17の①～⑤順でノコ刃を取り付けます。
最後にテンションレバーを時計方向に回し（⑥）、ノコ刃を張ります。

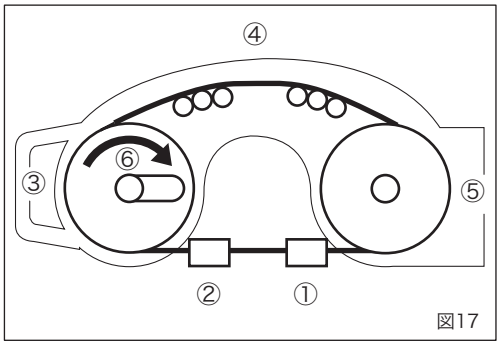


図17

取付けの確認(図18)

・ノコ刃が正しくセットされているか確認してください。
・セリベアリングの奥まで入っていること
・プーリーのつばに乗り上げていないこと

・プーリーA(車輪側)を手でゆっくりと反時計方向に回し、ノコ刃がずれたり、外れたりしないことを確認してください。

・取付けが完了したら必ずフレームカバーを取り付けてください。

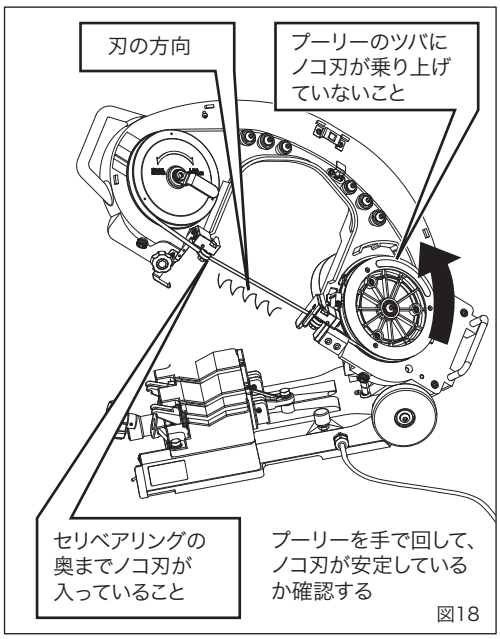


図18

5.予備ノコ刃の取付け取外し(図19～図20)

⚠ 警 告

・素手で直接ノコを触らないでください。事故やケガの原因になります。ノコ刃の取付け取外しの際は手袋、保護メガネを着用してください。
・予備ノコ刃の取付けは1枚にしてください。2枚以上の取付けはノコ刃の跳ね上がりや飛び出しが発生しやすくなり、ケガの原因になります。
・ノコ刃はばね性があります。取付け取外しの際はノコ刃の跳ね上がりや飛び出しに十分注意してください。ケガの原因になります。

予備ノコ刃の取付け

①フレームカバーを取り外し、平らなところに置いてください。
※フレームカバーの取外しは前項を参照してください。

②蝶ねじを少し緩め、金具を図19で示す方向に90°回してください。これを2カ所行ってください。

③ノコ刃の刃先をフレームカバーに向け図20のように手でノコ刃を持ってください。
※曲がり癖がつくまでノコ刃を曲げないように注意してください。

④まず、中央の金具の下にノコ刃の中央付近をいれ、その後に6カ所のふくらみの内側にノコ刃を収納してください。(図19)

⑤ノコ刃と直角の位置まで金具を回してください。

⑥蝶ねじをしっかりと締めてください。

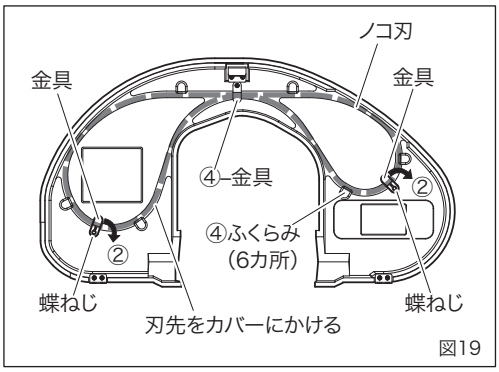


図19

予備ノコ刃の取外し

①フレームカバーを取り外し、平らなところに置いてください。

②蝶ねじを少し緩め、金具を図19で示す方向に90°回してください。これを2カ所行ってください。

③図20のように手でノコ刃を持ち、ノコ刃を外してください。
※曲がり癖がつくまでノコ刃を曲げないように注意してください。

④金具を元の位置まで回してください。(図19)

⑤蝶ねじをしっかりと締めてください。

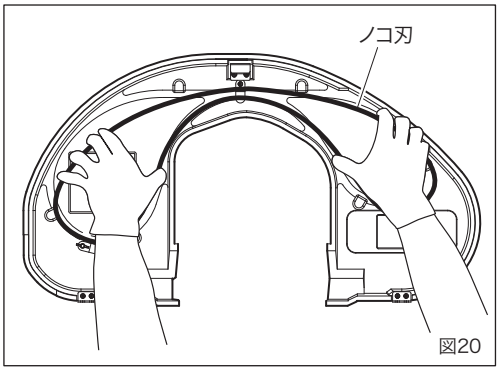


図20

⚠ 警 告

・取付け取外しを行った後、蝶ねじが緩んでいないことを確認してください。緩んでいると運転中にノコ刃や金具が外れて回転部に巻き込まれ、機械が破損するばかりでなく、事故やケガの原因になります。

6. 切断前の点検(図21)

①電源プラグをコンセントに接続します。

②フレームを上げた状態でベース前面右側にあるスイッチをONにします。

③以下の点を確認してください。
・モーターや回転部から異常音などがしないこと
・ノコ刃が外れたり、ずれたりしないこと
・フレームを下ろし、スイッチがOFFになること

④確認が終わったら、電源プラグをコンセントから一旦、外しておいてください。

⚠ 警 告

・フレームカバーは必ず取付けた状態で点検を行ってください。点検中にノコ刃が外れると、飛び跳ねて顔などに当り、事故やケガの原因になります。

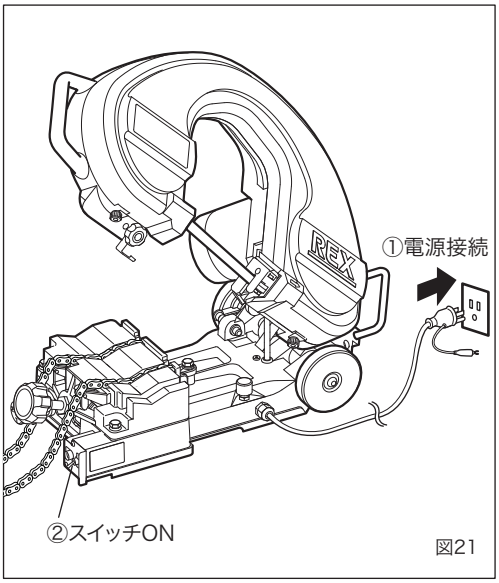


図21

切断準備

1. 切断荷重の調整(図22)

切断荷重は、切断精度やノコ刃の寿命に影響します。P5の表を参考にして、切断材料に合った荷重に調整してください。
より切断精度を重視する場合は、表より軽い荷重での切断をおすすめします。

①フレームを最上部まで持ち上げます。

②荷重調整ノブを引きながら回し、切断材料に合った荷重に合わせます。

③持ち上げていたフレームをゆっくりと下ろします。
※この時、フレームのストッパーが解除されていることがありますので、注意してください。

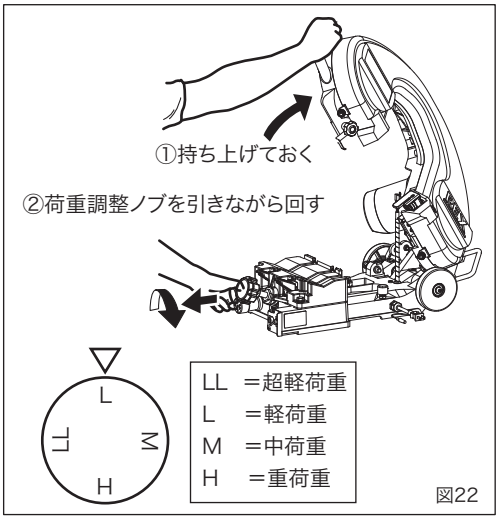


図22

P5-表3「切断荷重とノコ刃の選定について」を参考にしてください。

2. セリのスライド調整(図23)

セリのスライド調整は、切断精度やノコ刃の寿命に影響します。セリヘッドBは、切断材料に最も近づけて固定してください。切断材料からの距離がはなれると、切断精度やノコ刃の寿命が悪くなります。

⚠ 注 意

・セリヘッドBを移動した後、セリ調整ノブを確実に締め付けて下さい。締め付けが不十分であると、切断時にセリヘッドBが働き、切断精度が悪くなるばかりでなく、ノコ刃破損の原因になります。

①セリ調整ノブを反時計方向に回し、セリヘッドBが動かせるまで緩めて下さい。

②セリヘッドBを手で動かし、切断材料に近づけてください。
※切断材料とセリヘッドBがぶつからないように調整してください。

③セリ調整ノブをしっかりと締め付けてください。

※セリスライド調整は切断精度に大きく影響します。
精度よく切断するため、必ず切断材料のサイズに合わせてください。

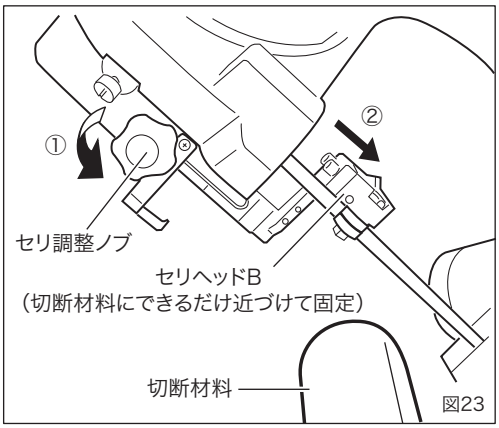


図23

切断準備

3.切断材料の固定

⚠ 警 告

・ノコ刃を回転させたまま、切断材料の取付け、取外しをしないでください。
切断材料や手などが回転中のノコ刃に巻き込まれて、事故やケガの原因になります。

⚠ 注 意

・切断材料がしっかりと固定されていることを確認してください。固定が不十分だと、
切断が不安定になり、機械が破損するばかりではなく、事故やケガの原因になります。

XB180WS(チェーンバイス)の場合

(図24～図25)

⚠ 注 意

・チェーンを必要以上にゆるめた状態で、フックに掛けると、固定されない場合があるので、可能な限りチェーンを張ってフックに掛けてください。
・切断材料がしっかりと固定されていることを確認してください。固定が不十分だと、切断が不安定になり、機械が破損するばかりでなく、事故やケガの原因になります。

①チェーンロックノブを反時計方向に回し、フックを最上部まで上げてください。(図24)

②チェーンを奥のへこみに置いてください。(図24)

③チェーンバイス台のV字溝に切断材料を乗せてください。(図24)
※長尺物の場合は水平になるように片側を受台などで支えてください。

④チェーンハンドルを持ってチェーンを引っ張り、フックに掛けてください。(図25)

⑤チェーンロックノブを時計方向に回し、チェーンをしっかりと締め込み、切断材料を固定します。(図25)

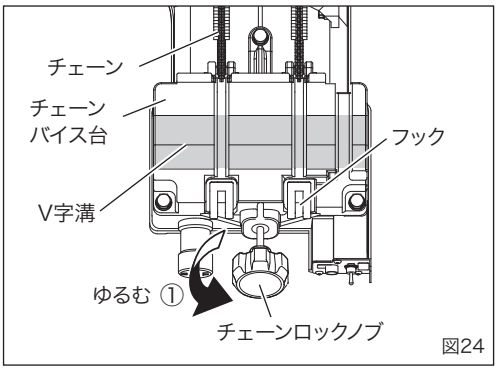


図24

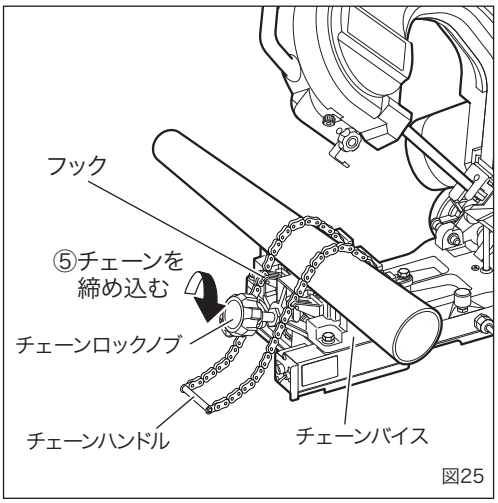


図25

切断準備

XB180WA（平バイス）の場合
（図26～図31）

ブレードBの移動方法（図26）

①バイスノブを反時計方向に回し、送りねじのロックを解除します。（図26）

②バイスレバーを上げながら前後に動かすとプレートBも一緒に前後します。（図26）

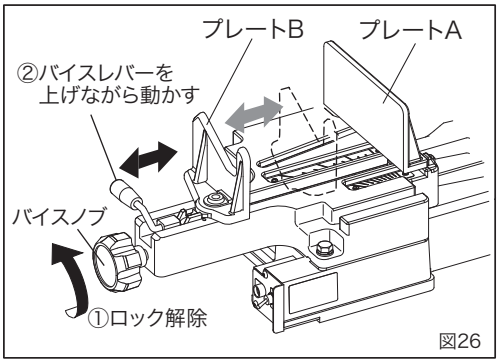


図26

直角切断の場合

①プレートAに沿うように切断材料をバイスに乗せます。(図26)

※切断材料は切断肉厚が急激に変化しない方向にセットしてください。（図27）
切断中に肉厚が急激に変化すると刃欠け、斜め切れ、モーターロックなどの原因になります。

※長尺物の場合は水平になるように片側を受台などで支えてください。

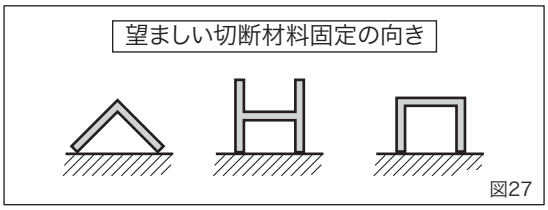


図27

②バイスレバーを上げながら押し、プレートBを切断材料に当てます。（図28）

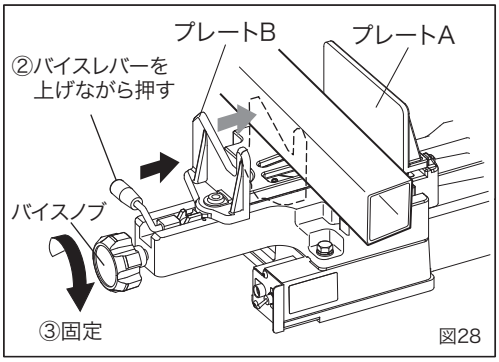


図28

③バイスノブを時計方向に回し、切断材料をしっかりと固定します。（図28）

※切断材料はバイス底面に密着するように固定してください。
浮き上がった状態で固定すると斜め切断の原因になります。

切断準備

角度切断の場合 (0〜45°)

①プレートAのロックボルト2カ所を付属のソケットレンチで緩めます。(図29)

②プレートAを切断したい角度の目盛りに合わせ、ロックボルトをしっかりと締め付けます。(図30)

③直角切断の場合と同様の方法で材料を固定してください。

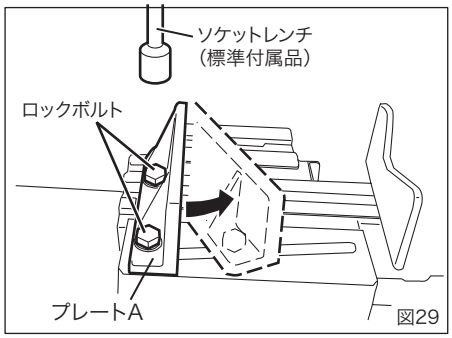


図29

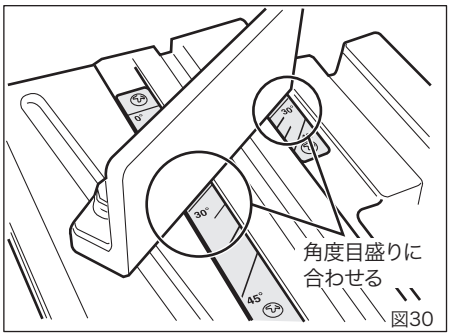


図30

角度切断状態から直角切断状態にもどす場合 (図31)

①プレートAのロックボルト2カ所を付属のソケットレンチで緩めます。

②平バイスとプレートAのストッパー部に付着している切粉やゴミを除去してください。

③プレートAとストッパー部が平バイス台のストッパー部に当たる位置まで動かしてください。

④プレートBをプレートAに当て、バイスノブを時計方向に締め込んでください。

⑤プレートAのロックボルト2カ所を付属のソケットレンチでしっかりと締め付けてください。

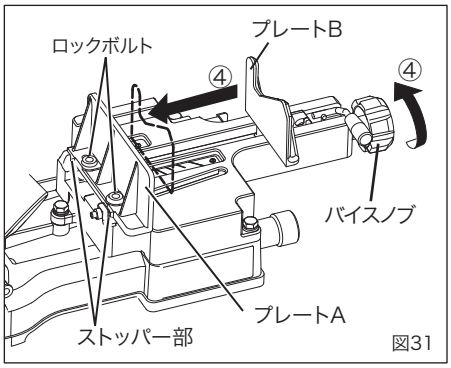


図31

切断

1. 切断作業(図32～図34)

①電源プラグをコンセントに接続します。（図32）

⚠ 注 意

プラグを差し込む前には必ずスイッチがOFFになっていることを確認してください。不意に起動してケガや事故の原因になります。

切断作業中は手袋をしないでください。回転部に巻き込まれ事故やケガの原因になります。

②ハンドルを持ち、いったん最上部までフレームを上げてストッパーを解除します。（図32）

③ベース前面右側にあるスイッチをONにし、ノコ刃を回転させます。（図33）

④ノコ刃が十分に回転速度を上げてからゆっくりと切断材料の上にノコ刃を乗せます。（図34）

※切断材料の上にノコ刃を乗せた状態でスイッチをONにしないでください。ノコ刃の損傷や斜め切れの原因になります。
※ノコ刃を急激に切断材料に落とさないでください。ノコ刃の損傷や斜め切れの原因になります。

⑤あとは自動的に切断していき、切断が終了するとスイッチがOFFとなり停止します。（図34）

⚠ 注 意

切断直後の切断材料やノコ刃は高温になっていますので、素手で触れないでください。火傷などケガの原因になります。

2. 切断中にノコ刃がスリップした場合

・切断材料やマシンの各部（ノコ刃、プーリー、ベアリング）に油などが付着していると、切断中にノコ刃とプーリーがスリップし、プーリーの空転状態となります。その場合は直ちにスイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いた上で、切断材料やマシン各部に付着した油をウエスなどで拭き取ってください。
※ノコ刃がスリップした状態で運転を続けると、プーリーのゴムリングの焼損や、プーリーの破損の原因となります。

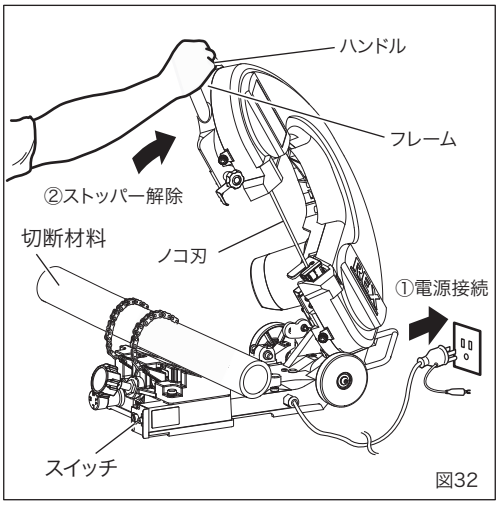


図32

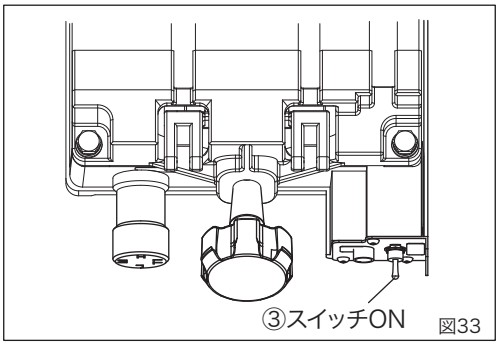


図33

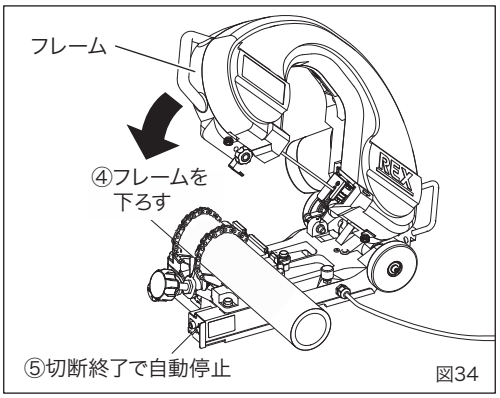


図34

切断

3. 切断中にモーターが停止した場合(図35)

・切断中に無理な荷重がかかったり、ノコ刃が切断材料にかみ込んでロックした場合などは、過負荷保護装置が作動し、モーターの回転が停止します。

過負荷保護装置が作動した場合は以下の手順で復帰させてください。
①スイッチをOFFにする
②原因を取り除く
③スイッチの下にある過負荷保護装置復帰ボタンを押す(図35)

※モーターが過熱していると、すぐに復帰できない場合があります。その場合は数分待って再び復帰ボタンを押してください。

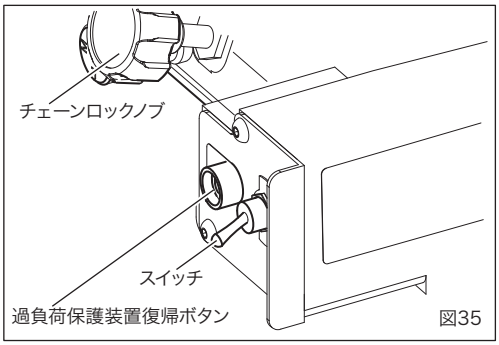


図35

4. 切断材料取外し(図36～図37)

XB180WS(チェーンバイス)の場合
(図36、図37)

①ハンドルを持ち、フレームを最上部まで上げてストッパーでフレームが止まるのを確認します。(図36)

②チェーンロックノブを反時計方向に回して、フックを最上部まで上げます。(図36)

③チェーンハンドルを持ち、フックからチェーンを外します。(図37)

④切断材料を取り外します。(図37)

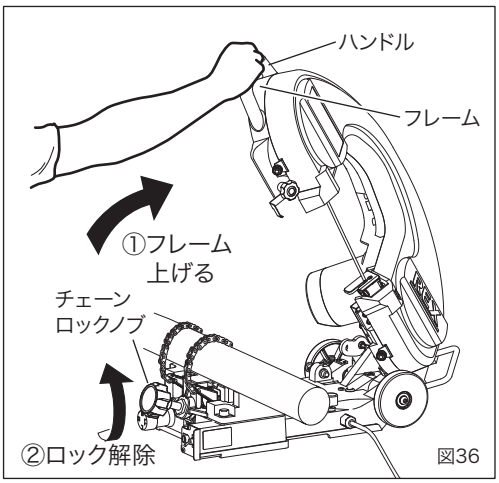


図36

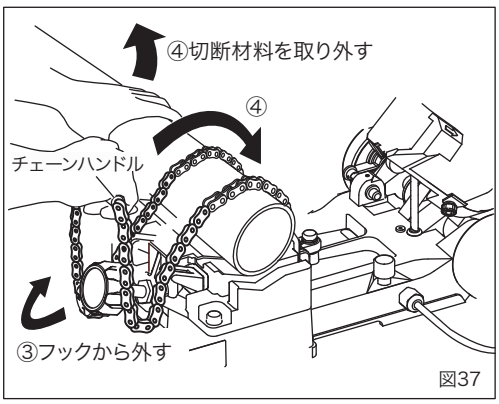


図37

XB180WA(平バイス)の場合
(図38)

①ハンドルを持ち、フレームを最上部まで上げてストッパーでフレームが止まるのを確認します。

②バイスノブを反時計方向に回してロックを解除します。

③バイスレバーを上げながら引き、切断材料を取り外します。

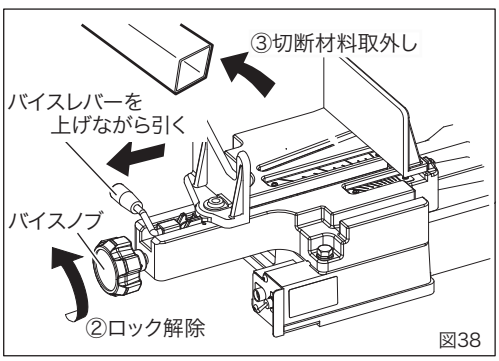


図38

切断

5. 切断終了(図39～図41)

XB180WS(チェーンバイス)の場合
(図39)

①チェーンは、たるませずフックにかけ、チェーンロックノブを軽く時計方向に回して固定し、たるんだチェーンはチェーンバイスとベースの上にのせておきます。

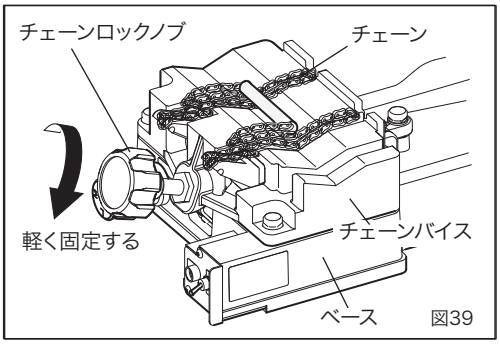


図39

XB180WA(平バイス)の場合
(図40)

①プレートBがプレートAに当る状態にし、バイスノブを軽く時計方向に回して固定します。

※切断時に出た切粉などは清掃し、取り除いてください。

※被覆管などを切断した際に発生した樹脂などの切粉がフレーム内部のプーリーに付着すると、ノコ刃のスリップの原因になります。必ず取り除いてください。

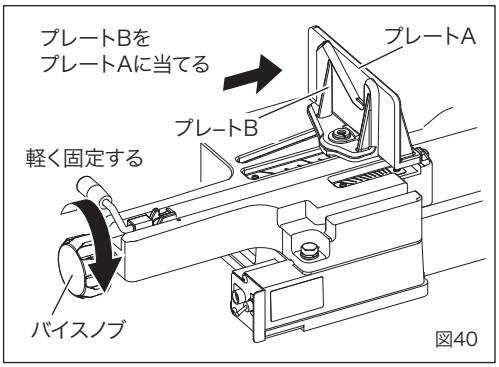


図40

・ハンドル部に付属しております結束バンドにてコードを束ねて収納して下さい。(図41)

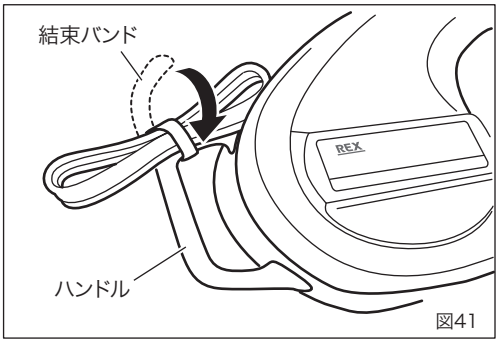


図41

その他の使い方

1. コンター切断(図42～図44)

本機はコンターとして使用することができます。以下の手順、注意に従い操作してください。

⚠ 警 告

- コンター切断は必ず平坦で安定した場所で行ってください。傾いた状態や不安定な場所で使用すると、作業中にフレームが倒れ、事故やケガの原因になります。
- 使用中は手袋を着用しないでください。回転部に巻き込まれ事故やケガの原因になります。
- 切粉が飛散する場合がありますので、必ず保護メガネを着用してください。
- 丸材の切断は行わないでください。切断時に回転し、事故やケガの原因になります。
- 切断は切断材料の両側をノコ刃から10センチ以上離れたところでしっかりと支えながら行ってください。近すぎるとノコ刃に巻き込まれ、事故やケガの原因になります。

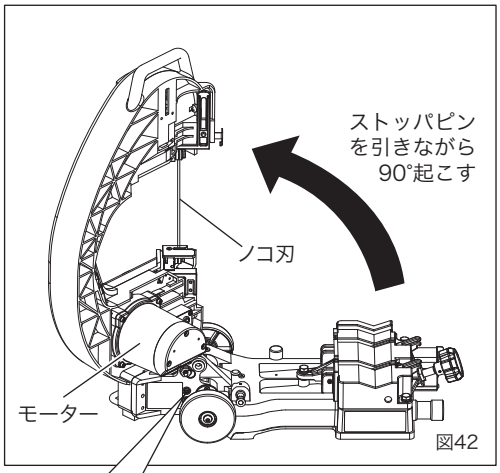


図42

①モーターの左側にあるストッパピンのリングを引きながらハンドルを持ってフレームを起こし、垂直に立てます。（図42、43）

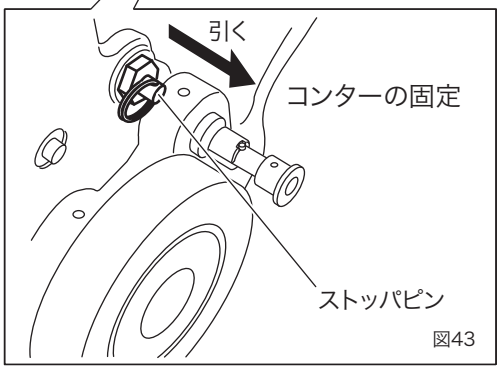


図43

②スイッチをONにし、ノコ刃を回転させます。

③切断材料をコンターテーブル面に置き、徐々に送って切断していきます。（図44）

※切り込み時や切れ落ち時は特にゆっくりと送ってください。
※切れ落ち時は押し付ける力を弱めて、身体が前のめりにならないように注意してください。

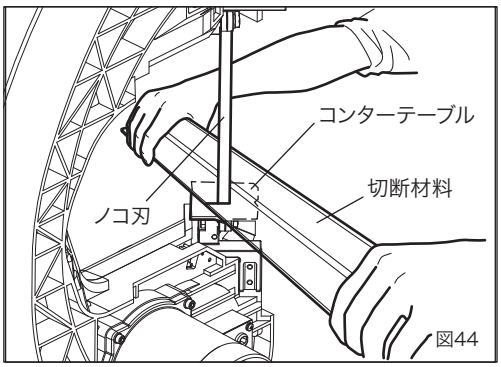


図44

④切断終了後はすぐにスイッチをOFFにしてください。
続けて使用しない場合は危険防止のため、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

⑤ストッパピンのリングを引きながら、ハンドルを持ち、フレームを下ろすと通常切断位置に戻ります。

※ノコ刃は直線切り専用です。曲線切りはできません。
曲線切りを無理に行うとノコ刃に曲がりぐせがついたり、刃が欠けたりすることがあります。

※コンター切断に使用したノコ刃は曲がりぐせがつきやすいため、通常切断を行う際は新品のノコ刃に交換してください。

メンテナンス

⚠ 警 告

・点検・手入れをする時には、必ずスイッチをOFFにし、さらに差し込みプラグを電源から抜いて作業してください。接続をしたままでは不意に作動して、ケガの原因になります。

・点検・手入れの時に異常が発見されたら、「修理・サービスを依頼される前に」の項目に症状を照らし合わせ、該当する指示にしたがってください。そのまま使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあり、事故やケガの原因になります。

1.各部の手入れ(図45)

●ノコ刃の点検

・ノコ刃に刃欠けや、損傷がないことを確認してください。刃欠け、損傷がある場合はノコ刃を交換してください。
・切れ味が悪くなったノコ刃をそのまま使用すると、斜め切れの原因になります。

●各部取付けねじの点検

・各部の取付けねじが緩んでいないことを確認してください。緩んでいる場合は締め直してください。

●電気まわりの点検

・電源プラグ、コードなどに損傷がないことを確認してください。損傷がある場合は交換してください。

●セリ部の点検

・セリヘッドが２箇所とも正しく調整されていることを確認してください。
・セリヘッドのベアリングが、摩耗していないことを確認してください。摩耗している場合は新品と交換してください。

●清掃

・本体やプーリーに付着している切粉やゴミなどを布などを使用して拭き取ってください。
※モーター部は水で濡らさないように注意してください。

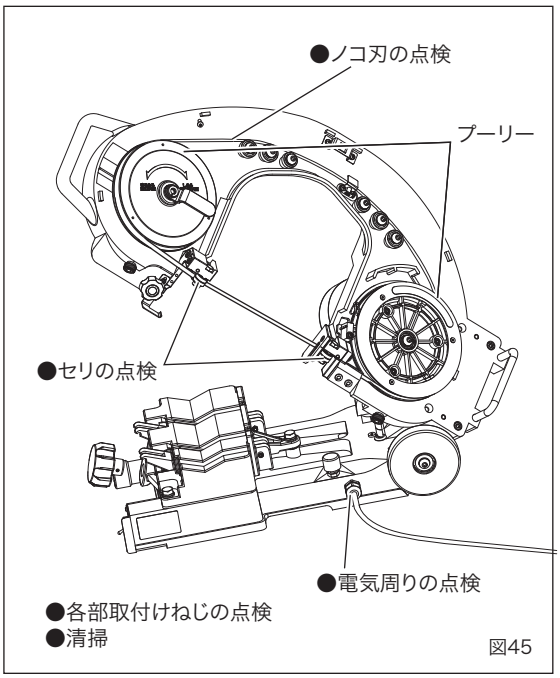


図45

メンテナンス

2.ブラシの交換(図46)

本機の駆動側プーリーには樹脂の切粉などによるノコ刃のスリップを軽減するため、ブラシが装着されています。
ブラシは消耗品ですので、クリーニング性能がおちた際には交換してください。

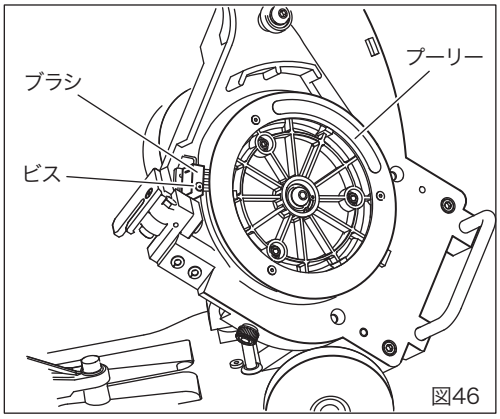


図46

ブラシの交換方法

①ビスをプラスドライバーで緩め、ブラシとビスを外してください。
③ブラシを元のとおりに取付け、ビスを締め付けてください。

修理をご依頼のときは

本機は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、決して自分で修理をせず、下記のところにご依頼ください。

最寄りの
- レッキス製品取扱店
- レッキス工業営業所（裏表紙参照）
- レッキステクノサービス部

その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上でご不明の点がありましたら遠慮なくお問い合わせください。

メンテナンス部品の保有期間について	本製品のメンテナンス部品の供給は製造停止後7年とします。ただし電子部品は5年とします。

トラブルシューティング

⚠ 警 告

・該当する項目や指示がない場合は、ご自分で分解したり修理したりしないでください。
・該当する項目や指示がない場合、あるいは「修理・サービスを依頼してください。」の指示がある場合には、必ずお買い求めの販売店、当社にお申し付けください。
・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因になります。製品に異常が生じたときは、次の点をお調べの上お買い上げの販売店、または当社にご連絡ください。

症　状	原　因	対　策
斜め切断	切断荷重が重い	切断材料に適した荷重にする(P5)
	ノコ刃の取付け不良	ノコ刃をセリヘッド、ガイドローラー、プーリーに正しくセットする
	ノコ刃の急激な落下	ノコ刃を静かに降ろす
	斜め切れが発生したノコ刃を使用している、またはノコ刃の摩耗	ノコ刃を新品と交換する
	ノコ刃の山数が切断材料に合っていない	切断材料に適したノコ刃に交換する(P5)
	セリヘッド部ベアリングの摩耗	ベアリングを新品と交換する(修理・サービスを依頼してください)
	切断中に切断材料が動いた	切断材料を V字溝に接した状態でしっかり締付ける
	切断材料の締付け状態が悪い	長方形のものは高さ方向がなるべく低くなるように締付ける
	テンションレバーのセット不足	テンションレバーを「しめる」の方向へ正しくセットする
	純正品以外のノコ刃を使用している	純正品のノコ刃を使用する
	セリ調整ノブのゆるみまたは締め不足	セリ調整ノブをしっかりと締める。
切断時間が長い	切断荷重が軽い	切断材料に適した荷重にする(P5)
	ノコ刃山数が切断材料に適していない	切断材料に適したノコ刃に交換する(P5)
	ノコ刃の摩耗	ノコ刃を新品と交換する
切断中に振動が発生する	テンションレバーが「しめる」の方向にセットされていない	テンションレバーを「しめる」の方向にセットする
	切断材料がしっかりクランプされていない	切断材料をしっかり締付ける
	ノコ刃の刃欠けや亀裂	ノコ刃を新品と交換する
	予備ノコ刃の取付け不良	予備ノコ刃を正しく取付ける。(P11)

表5

トラブルシューティング

症　　状	原　　因	対　　策
ノコ刃がスリップする ノコ刃が外れる	ノコ刃の取付け不良	ノコ刃をセリヘッド、ガイドローラー、プーリーに正しくセットする
	ノコ刃に油が付いている	ノコ刃の油を拭き取ってセットする
	切断材料に油が付いている	切断材料の油を拭き取ってセットする
	プーリー、セリヘッドのベアリング、ガイドローラーに油が付いている	各部の油を拭き取る
	テンションレバーの締付けが不足している	テンションレバーを所定の位置まで回転させる
	プーリーのゴムリングの摩耗	ゴムリングを新品に交換する （修理・サービスを依頼してください）
	プーリーのゴムリングに樹脂や切粉が付着している	ゴムリングをウエスで清掃する
	ブラシの摩耗	ブラシを新品に交換する (P. 22)
モーターが回らない	過負荷保護装置が作動している	P18の手順に従い、復帰させる
	差し込みプラグが電源から外れている	電源プラグをコンセントに接続する
	電源コードの断線	修理・サービスを依頼してください
	スイッチの故障	修理・サービスを依頼してください
	モーターの故障	修理・サービスを依頼してください
切断中にモーターが止まる	過負荷保護装置が作動した	P18の手順に従い、復帰させる
	電源電圧が低い	100V電源に接続しなおす
	のこ刃が切断材料に合っていない	切断材料に適合したのこ刃に交換する（P5）
	切断荷重が重い	切断材料に適合した荷重にする（P5）
	切断中に材料が動いた	切断材料を、バイス面に接した状態でしっかり締め付ける

表6